

令和元年度 決算報告

令和元年度決算状況からみる市の財政状況は健全です。国が自治体の財政状況把握のための指標を設けており、その指標に合わせて毎年、財政の健全性を確認しています。その状況を見てみましょう。

① 実質赤字比率 黒字



普通会計（一般会計と土地取得特別会計の計）の赤字の程度を示す比率で、財政運営の悪化の度合いを示します。牧之原市は、収入総額が支出総額を上回っているため、黒字です。

② 連結実質赤字比率 黒字



牧之原市の全ての会計を合計した収支の赤字比率です。①の実質赤字比率と同様に、特別会計や水道事業会計を加えても黒字の運営をしています。

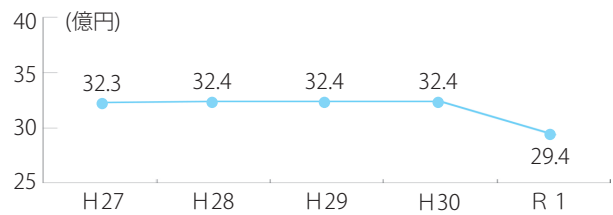
③ 実質公債費比率 7.6%



市（一部事務組合などを含む）の借金の返済額の大きさを示す指標で、この比率が高いほど返済負担が重くなります。借金をするために県の許可が必要となる基準18%を平成25年度に下回り、元年度はさらに減少しました。今後も比率は減少する見込みです。県下の平均値（5.9%）を目指して、計画的な事業執行と財政運営に努めていきます。

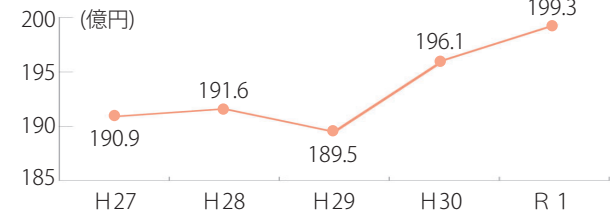
財政調整基金（貯金）の推移

前年度と比較すると、市税や地方交付税、ふるさと納税などの減額により財政調整基金の繰入額が大幅に伸びたことから、減額となりました。事業費の年度間の調整財源として活用しています。



市債残高（借金）の推移（普通会計）

道路ストック補修支援事業や防災行政無線デジタル化整備などの事業により、借入額が返済額より多くなったため、前年度より市債残高が増加しました。



④ 将来負担比率 2.2%



借金返済や将来も支払わなければならない負担金などの残高を指標化したものです。この比率が高いほど、将来、財政が圧迫される可能性が高いこととなります。

⑤ 資金不足比率 黒字（資金不足なし）



事業会計の料金収入に対する資金不足（赤字額）の比率で、経営状況の深刻度を示します。市の水道事業と農業集落排水事業については、資金不足はありません。

水道事業会計（企業会計）

区分	収入	支出
収益的収支	10億3,341万円	9億7,322万円
資本的収支	1億5,338万円	3億4,724万円

収益的収支 = 水道事業を運営するための収支を表したもの
資本的収支 = 配水池の建設や管路の整備など、資産の整備と企業債償還金などの支出、その財源となる収入の収支を表したもの

水道事業会計（企業会計）は、地方公営企業法に基づき設けた水道事業を行う特別会計で、民間企業と同様の経理や決算を行います。

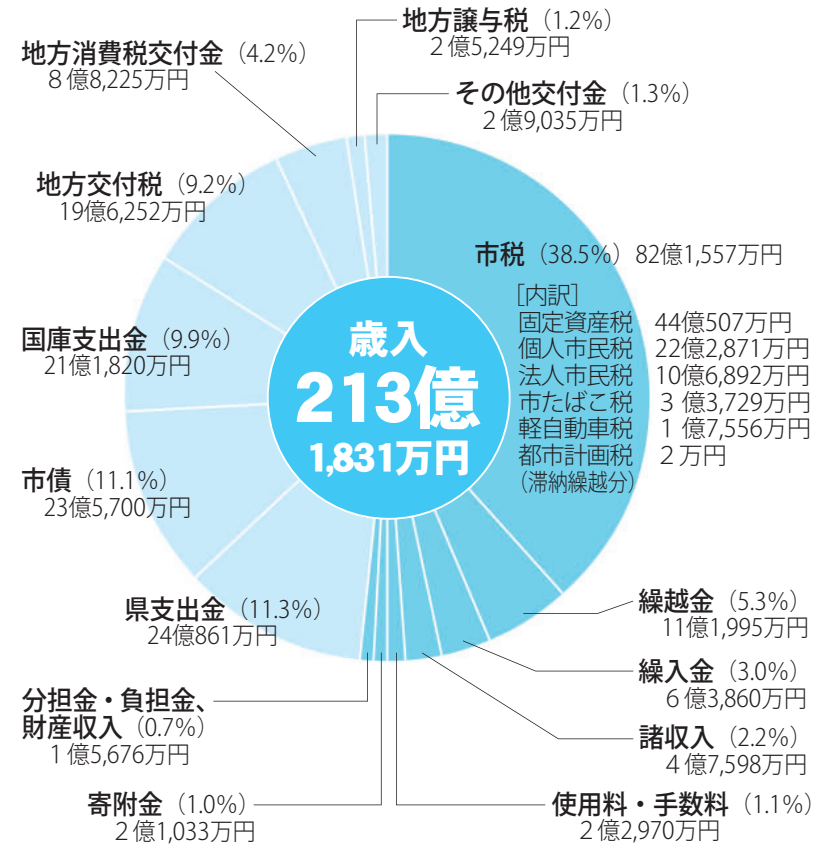
特別会計

特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険	52億1,020万円	49億4,347万円
後期高齢者医療	5億302万円	5億283万円
介護保険	44億531万円	43億1,765万円
土地取得	16万円	16万円
農業集落排水事業	1,483万円	1,343万円

特別会計は、市が特定の事業を行うために、一般会計と区別して設けるもので、特別会計ごとに決算を行います。

「にぎわい創出」、
「子育て・教育環境の充実」を推進

依存財源 102億7,142万円 自主財源 110億4,689万円



歳入（収入）
令和元年度一般会計の歳入は213億1831万円（前年度比△2.6%）で、歳入の約4割を占める市税が前年度比5億5807万円（前年度比△6.4%）の減額となりました。固定資産税の土地については、海岸部の地価の下落が止まらず減額となりましたが、

内大手企業などの業績悪化による影響から、前年度比△5億8981万円（前年度比△35.6%）の減額となりました。しかし、法人市民税は市倉庫の新築数の増加などから増額し、償却資産についても自動車関連企業や太陽光発電設備事業者などの設備投資により増額となり、前年度を上回りました。

歳出（支出）
歳出は、205億3688万円（前年度比△1.1%）となりました。道路ストック補修支援事業

の増額や、坂部消防館および地頭方地区放射線防護施設の建設事業、防災行政無線デジタル化整備事業、小学校空調設備整備事業、台風19号の災害復旧事業などの実施により、歳入と同様に2年連続で200億円を上回りました。健全な財政運営のため、事業の選択と集中を図り、限られた財源を最大限有効活用していきます。

生活基盤



市道須々木大溝線

- ▼**移住・定住促進事業（7504万円）**
総務費 定住施策としての奨励金などの支援や移住相談会、移住体験ツアーを実施。
- ▼**道路ストック補修支援事業（4億4838万円）**
土木費 道路ストック修繕計画に基づき、市道の舗装補修を10路線および法面補修2路線、橋梁の補修工事4橋を実施。
- ▼**浸水対策事業（9713万円）**
土木費 浸水被害低減のため、河川改良事業を実施。
- ▼**生活・幹線道路の整備事業（4億508万円）**
土木費 国道などを含めた広域交通ネットワークの整備を目的に、市内の主要幹線道路・生活道路を整備。市道壱丁田北線・大倉壱丁田線整備（6183万円）、市道須々木大溝線改良（1億2254万円）、津波避難路整備（6221万円）、市道八ツ枝毛ヶ谷線改良（6850万円）など。

防災

- ▼**放射線防護対策事業（9億2007万円）**
消防費 PAZ圏内の要配慮者等（高齢者・障がい者・乳幼児など）の被ばくのリスクを下げながら、安全に一時的な屋内退避を行うため、地頭方原子力防災センターを整備。
- ▼**地頭方漁港海岸保全施設整備事業（1億5576万円）**
農林水産業費 レベル1津波対策事業として、地頭方漁港海岸の護岸整備工事を実施。
- ▼**消防施設整備事業（1億5784万円）**
消防費 消防水利の充足率向上のため耐震性貯水槽の設置、消防団（3・10分団）の統廃合に係る詰所の解体撤去や建設を実施。
- ▼**防災行政無線デジタル化整備事業（3億2411万円）**
消防費 災害時および災害復旧活動における情報伝達の迅速性・確実性の向上を図るための更新整備を実施。



地頭方原子力防災センター「ジーボ」

市政経営

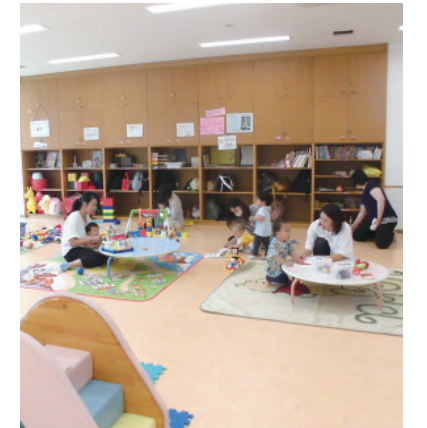


ホームページ全面リニューアル

- ▼**老人会館解体事業（3055万円）**
民生費 公共施設マネジメント基本計画に基づき、老朽化が著しく、津波浸水区域に立地している老人会館の解体工事を実施。
- ▼**公営住宅等ストック総合改善事業（4109万円）**
土木費 公営住宅等長寿命化計画に基づき、菅ヶ谷団地1・2・3号棟の排水管等取替修繕、菅ヶ谷団地2号棟補修工事、大原団地・菅山団地の一部解体工事を実施。
- ▼**相良公民館解体事業（192万円）**
教育費 耐震性不足により閉館した相良公民館を解体するための設計を実施。情報発信（ホームページ更新）事業（900万円） 総務費 スマートフォンや多言語などに対応するため、ホームページを全面リニューアル。

健康福祉

- ▼**子育て支援センター運営事業（2019万円）**
民生費 育児不安を軽減するため、子育て親子の交流促進、相談指導、講座などの開催や子育てサークルへの活動支援などを実施。
- ▼**切れ目のない子育て支援事業（781万円）**
民生費 専門職を配置し、子育て、児童虐待、発達支援などの相談および関係機関との調整を実施。
- ▼**こども医療費助成事業（1億8530万円）**
民生費 子育ての経済的負担の軽減と早期受診による子どもの健全な育成への寄与を目的に、乳幼児から小・中・高校生までの入通院に係る医療費助成を実施。
- ▼**勝間田保育園改修事業（1826万円）**
民生費 保育環境の改善を図るため大規模改修工事を実施。
- ▼**子ども・子育て支援事業（2006万円）**
民生費 子育ての経済的な負担軽減を目的に、幼稚園・保育所・認定こども園などを利用する、3歳から5歳までの全ての子どもたちの幼児教育・保育無償化事業を実施。



子育て支援センター様原（さざんか内）

教育文化

- ▼**英語力向上サポート事業（2457万円）**
教育費 小中学校への外国人指導助手（ALT）の配置やイングリッシュキャンプを実施。
- ▼**学習支援サポーター配置事業（1950万円）**
教育費 学習支援サポーターによる児童生徒に応じた学習活動の支援を実施。
- ▼**ICT（情報通信技術）活用推進事業（5289万円）**
教育費 授業でのICT機器利活用の研究や小学校3年生以上の全普通教室への無線LAN環境整備を実施。
- ▼**学校施設改修事業（5787万円）**
教育費 川崎小学校教室棟（A・C棟）の大規模改修工事および細江小学校管理教室棟改修の設計業務委託を実施。
- ▼**小学校空調設備整備事業（1億9698万円）**
教育費 学習意欲の向上と健康保持を目的として小学校の教室などに空調設備を設置。



教室に空調設備を設置

産業経済

- ▼**静波海岸マリンスポーツステーション整備事業（7868万円）**
商工費 サーフイン競技のホストタウンとしての整備と観光地としての海水浴場における快適な環境を整備。
- ▼**田沼意次侯生誕300年記念事業（2944万円）**
総務費 田沼意次侯生誕300年の年を契機に、市民の誇りの醸成および産業・観光の活性化につなげるため、各種記念事業を実施。
- ▼**ホストタウン推進事業（759万円）**
総務費 中国ナショナルサーフィンチームが市内で強化合宿を実施、アメリカ合衆国オリンピックピック関係者が地域住民との交流を実施。
- ▼**茶業振興事業（4295万円）**
農林水産業費 茶業団体の育成支援、茶葉集積や乗用型機械の導入支援を実施。
- ▼**新拠点開発推進事業（382万円）**
土木費 東名高速道路相良牧之原インターチェンジ北側の開発を推進するため、準備組合と業務代行予定者との業務協定を締結。



静波海岸マリンスポーツステーション